

科目	学年・小学科	単位数
商業・原価計算	2学年・情報システム科	3
教科書	実教出版「原価計算」	
副教材	最新段階式簿記検定問題集 全商1級原価計算（実教出版）	

1. 学習目標

製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得させ、原価の概念について理解させるとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる

2. 学習方法

○学習内容が「簿記」よりさらに高度になるため、教科書を活用して、予習と復習をおこなう。
 ○問題演習については、宿題を中心に取り組む。
 ○不明な点は積極的に質問して「原価計算」に対する理解を深める。
 ○基礎・基本の問題が確実に解けるように、確認テストを行い理解度を確認する。グループでの作業学習やグループやクラスでの発表を通して、考えたことを表現する機会を設ける。
 ○簿記の学習を基礎とし、講義と演習を中心に知識と技術を身に付ける。

3. 評価の観点と趣旨

① 関心・意欲・態度	製造業の原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得目指して意欲的に取り組むとともに、原価計算から得られる情報を活用する態度を身につけている。
② 思考・判断・表現	各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけている。
③ 技能	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、原価計算から得られる情報を的確に処理することができる。
④ 知識・理解	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。
⑤	

科目名	学年・小学科	単位数
原価計算	2年情報システム科	3

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	第1編 原価計算の基礎	1 原価と原価計算	原価の意味	○			○		授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査 グループワーク
		2 原価計算のあらまし	原価要素の分類	○	○		○		
		3 工業簿記	製造業における特有な勘定						
	第2編 原価計算の費目別計算	4 材料費の計算と記帳	材料消費高の計算						
		4 労務費の計算と記帳	賃金消費高の計算	○		○	○		
	5 経費の計算と記帳	経費消費高の計算							
前期末	第3編 原価の部門計算と製品別計算	7 個別原価計算	個別原価計算と原価計算表 2 原価分解 3 原価分解の方法	○	○	○	○		a: 個別原価計算と原価計算表の関係、製造間接費の予定配賦について理解しようとしているか。部門別原価計算を行う意味を理解し、適切に計算しようとする意欲的に取り組んでいるか。 b: なぜ、製造間接費は予定配賦するのか、なぜ部門別計算を行うのか等を考え、適切に判断して学習を進めている。 c: 原価計算表から製造勘定の記入ができるか。 d: 問題演習で一定の解答を導き出すことができ、解答を間違えた場合その要因を自分で把握できるか。
		8 部門別個別原価計算	部門別計算の意味 部門別計算の手続き	○	○	○	○		
		9 総合原価計算	単純総合減価計算 等級別総合減価計算						
		10 工程別原価計算	工程別総合減価計算 組別総合原価計算	○	○	○	○		
		11 総合原価計算における仕損・減損	副産物の評価	○	○	○	○		
後期中間	第4編 本社工場	12 製品の完成と販売	完成品の受け入れ・製品の販売 販売費及び一般管理	○	○	○	○		a: 商業簿記と対比して、工業簿記特有の帳票類を学習しようとしているか。具体的な製造業の携帯と照らし合わせて、本社工場会計を理解しようとしているか。 b: 販売費及び一般管理費として2つの費用項目を一括する理由について適切に説明できるか。本社工場における工場勘定、工場勘定における本社工場の役割について適切に説明できるか。 c: 完成品原価月報をもとに仕訳処理ができるか。取引の内容から、本社工場間の取引を仕訳処理できるか。 d: 問題演習で一定の解答を導き出すことができ、解答を間違えた場合その要因を自分で把握できるか。
		13 本社工場会計	工場会計の独立 取引の記帳方法 決算手続き 財務諸表の作成	○	○	○			
後期末	第5編 標準減価計算	14 標準原価計算の目録と手続き	標準原価計算 原価差異の計算と分析	○	○	○	○		a: 原価管理と標準原価計算について、実際原価計算と対比して適切に説明できるように意欲的に取り組んでいるか。 b: 原価差異を設定する理由について適切に説明できるか。 c: 原価差異の分析を適切に行うことができるか。 d: 完成品と月末仕掛品の標準原価の算定方法を理解しているか。 e: 直接原価計算の利点を理解し、正しく計算を行い、利益計画に役立つ資料を提供することができるか。 f: 損益分岐分析ができるか。
		15 原価差異の原因分析	原価差異の計算と記帳	○	○		○		
	第6編 直接減価計算	16 直接減価計算	直接減価計算の意味	○	○		○		
17 直接減価計算		損益分岐分析							